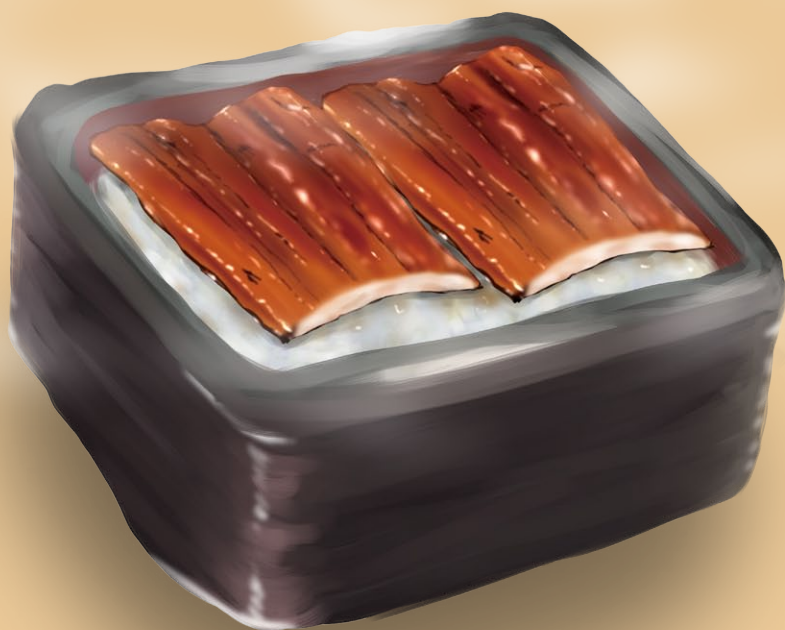


子どもから大人、若者から高齢者に至るまでのすべての人の文化を

文化高知

2022年7月 NO.226



[もくじ]

2～3 僕の仕事は、宝探し。…松岡基弘

4～5 弓の道あけくれ…前田 亘

6～7 若き住職から見た社会…久保智教

8～9 あなたの知らないところで起こっている書店員のあり得ない話…山中由貴

10 知ってほしいTNRのこと…森田智子

11 「アンテナ」カラクリシアター、その後…下尾 仁

12～13 高知市文化振興事業団6月の事業から

14～15 風俗歳時記・風伯

表紙デザイン：「土用の丑の日」岸本有希乃

公益財団法人高知市文化振興事業団

僕の仕事は、宝探し。

松岡 基弘

初めまして。コピーライターの松岡基弘と申します。昨年、東京から移住し、現在は高知市にある広告会社でコピーライターとして働いています。広告は基本的に、「言葉」と「絵」でできています。その「言葉」を中心に企画するのがコピーライターです。

「なぜ高知に移住したのか」とよく聞かれますが、その度に、「挑戦のため」だと説明しています。東京と違い、高知でコピーライターを本職としている人は少数です。移住する前にお会いした、高知のデザイナーの方からは、「地方でコピーライターの仕事をするのは大変だぞ」とアドバイスをいただきました。「言葉」という誰が使うものに対して、報酬が付きにくいという意味合いでした。しかし、「コピーが必要ない」と

いうことではなく、コピーの持つ価値が伝わっていないだけだと考えています。勤め先でも、コピーライターが私一人のため、チャンスが多く、挑戦しやすい環境です。コピーには本質を捉え、人の心を動かす力があるため、事業規模に関わらず必ず役に立っていると信じています。コピーの価値が、高知でもっと広がれば嬉しいです。

一般的に、コピーライターになるには、新卒で大手の広告会社に入り、クリエイティブの部署に配属されるのが王道です。しかし、人気が高い業界な上に、クリエイティブの部署は競争率が高く、大手広告会社でも、新入社員で配属されるのは一割程度です。私は、そうした王道ではなく、独学でコピーライターになった珍しいタイプです。

転機は三十歳の頃でした。大学卒業後、広告業界を専門とする出版社の営業、知見を広げるための海外放浪、理工系国立大学の広報を経て、個人で広報の仕事をしていました。一貫して、広告に関わる仕事をしてきたものの、まだ自分の芯となる力を見つけられていないと感じる日々を過ごしていました。そんな時にふと、コピーライターの登竜門と言われ、五十年以上続く宣伝会議賞を思い出し、自分にもコピーが書けるか、試してみたくなったのです。応募前に決めたのは、「全課題の応募上限数まで書く」、「コピーの本は参考とせず、講座などにも通わない」ことでした。自分に才能があれば、賞は獲れるはず、獲れなければ二度とコピーには手を出さないと覚悟を決めて挑みました。そ

して、五十三の企業の課題に対して、合計二千六百五〇本のコピーを応募しました。やっと書き終えたのは、締め切り日の朝です。数カ月後、忘れた頃に、受賞を知らせる電話が鳴りました。夕焼けに包まれた、小さなアパートの一室で、受賞の一報を受け、全身が震えたのを今でも覚えています。

この年の応募総数は、約五十五万点でした。その中で私が受賞したコピーは、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会の課題で、「あなたが使うことで伝統になる。」というものです。受賞式には両親を招待しました。父は末



個展の会場にて



筆者

期の癌を患っており、この一カ月後に亡くなりました。受賞をとて喜んでくれ、最期に少し安心させられたと思っています。翌年には、父との闘病生活の経験から書いた、「なんでもない日を続けるために。」というコピーで、公益財団法人日本対がん協会主催のピンクリボンデザイン大賞も受賞しました。こうして私は、コピーライターの道を歩み始めました。

コピーライターに必要なのは、言葉の上手さよりも、人や物事の本質を捉える力です。自分について振り返ると、子どもの頃から周りの人に、「相手の気持ちがわかる」「人に寄り添える」と言われることがありました。勉強の中では国語が好きで、特に文中の人物の気持ちを答える問題が得意でした。また、自然と人の短所ではな

く、長所を探していたような子どもでした。これらは、コピーライターの仕事に通ずるところがあったと思います。

コピーは急に天から降ってくるわけではなく、相手と自分の中から見つけるものです。対象の企業や商品の、何が優れていて、それがどう世の中の役に立つのか考えていきます。この過程は、まるで宝探しのようで、とても幸せな仕事だと思っています。

コピーのつくり方には、人それぞれの方法がありますが、「何を言うか」「どう言うか」「どれを選ぶか」が主な流れになります。例えば、企業のコピーをつくる場合を例にしましょう。まず、クライアントの経営者とお話しし、一見関係ないことまで含め、様々な角度から質問を重ね、キーワードになりそうな言葉を探します。そこから、相手の言葉と、連想する言葉と、真っ白な紙が真っ黒になるまで書き出し、「何を言うか」を決めます。真っ黒になった紙の上では、重要な言葉が何か、はっきりわかります。その上で初めて、「どう言うか」をコピーとして書いていきます。私の場合、少なく



キャンプを満喫

とも百本は候補案を書きます。スラスラ書けるわけではなく、唸りながらひねり出します。「もうこれ以上は何も書けない」と思った頃に、納得の一本が書けることもしばしばあります。ある大御所のコピーライターが、「百本に一本は天使が書かせてくれる」と話していて、書けないときに勇気づけられています。

最後に、「どれを選ぶか」です。私の場合、企業のコピーであれば、経営者が社内外でコピーを発している光景を思い浮かべ、どのコピーならしっくりくるかを考えます。そのようにして選んだコピーは、「頼んで良かった、まさにこの言葉です」と言っていただけることが多いです。

高知に移住して、六月で一年が経ちました。東京に住んでいた頃

とは、休みの過ごし方も大きく変わっています。プライベートでは、ライカを購入し、フィルム写真を始めました。一月には、住まいの近くを流れる「久万川」をテーマに、初めての個展を開催し、仕事だけでは広げられない新しい出会いがありました。高知の自然の中で、以前から好きだったアウトドアもさらに楽しんでいきます。仁淀川でのバーベキューや、ソロキャンプも経験しました。公私問わず、これからも挑戦を続けていきます。これを読んでくださっている皆さんにも、きつと近いうちにお会いできると思います。その際は、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

まつおか もとひろ

一九八七年 東京都出身。コピーライター。株式会社宣伝会議、東京工業大学、PR会社を経て、二〇二一年六月に、東京から高知に移住。高知市の総合広告会社・株式会社ユーエスケーに所属。

弓の道あけくれ



前田 亘

弓道とは、見た目には弓を引いて矢を的に当てるだけの単純な所作です。

そもそも弓は、原始時代は食料を得るための道具でしたが、やがて闘争のために用いられる武器となり、現在は弓で的を射る標的競技となりました。「王の武器」と称して尊崇する民族もあり、わが国でも祭祀には「鳴弦^{めいげん}」の儀式があり、神聖なものでもあります。

現在わが国では、弓道の弓の標準の長さは二・二メートルで、近の競技は二メートル先にある直径三八センチの的を、遠の競技は五〇メートル先にある直径一メートルの的の中を競い合います。明治時代になって、ただ単に的

中を競うだけの弓術に、至誠と礼節と調和の美の追求、そして身、心、弓の三位一体の合一を取り入れ、弓道として発展してきました。健康のためばかりではなく、躰、慎み、克己、和敬等を体得し、人生をより高く豊かにして、日常生活や人生とできるだけ一体となるように努力する武道です。

弓道は、多くの人が集まって競技をするため、広い土地と建物が必要です。高知県では稽古や小規模な大会を行う県立道場はありましたが、全国大会を開催できる規模の道場がなく、その都度仮設で対応していました。二〇一〇年頃、ねんりんピック（全国健康福祉祭）が高知県で開催されることが決ま

り、恒久施設の建設を県と高知市にお願いすることになりました。

高知県弓道連盟は、その当時、元高知市教育長で全日本弓道選手権学生の部で優勝の実績を持つ森山泰宏氏、県議の元木益樹氏、高知市議の中澤はま子氏を顧問に迎え、道場建設のお願いを始めました。その結果、県、高知市の理解と協力を得て、二〇一三年、弥右衛門公園の一角に全国弓道連盟が定めた公式基準の県立道場が落成しました。（この道場は防災緊急場所を兼ねています）

全国公式基準の新道場ができたこの年の国体で、高知県は弓道競技で男女総合優勝、女子総合優勝、少年男子遠的優勝、少年女子近的

と遠的優勝を勝ち取りました。翌二〇一四年にも男女総合優勝、少年女子近的優勝と二年連続で総合優勝し、高知のスポーツ界に寄与することができました。そして二〇一三年に開催されたねんりんピックの高知大会を無事に終えられたことが、当時会長として弓道連盟を預かっていた者として、心に残る出来事でした。

私が弓を射る人を初めて目にしたのは一九四〇年の大東亜戦争時、皇紀二六〇〇年を祝う全国行事として開催された弓道大会に父が参加した時です。父の姿は新聞にも掲載され、今でもその写真を大切に持っています。

私自身は一九五四年、高知相互銀行（現在の高知銀行）に入社し、当時勤務していた支店の近所に住まわれていた濱川虎一先生にすすめられ弓道を始めました。先生に二六キロの強さの弓と矢と弾^{ゆがひ}を頂戴し、先生の教えのとおり、いただいた弓を引いて弓に慣れることと、先生の射る姿を見ての見取り稽古を始め、二年くらい辛抱して、やっと弓らしく射ることがで

きるようになりました。またこの頃、銀行の同僚の佐竹一浩君、川崎裕美君から弓道部設立の相談があり、一九五五年、小栗勇喜常務取締役を部長に戴き、高知相互銀行弓道部を設立しました。

このチームは佐竹君の指導のもと、抜群のチームワークと練習を重ね、個人では全日本弓道大会で佐竹君が優勝一回と二位および三位入賞各一回、筆者が二位入賞一回、団体では全日本実業団大会で優勝一回、産業別部門優勝八回の成績を収めました。これはひとえに銀行の役職員皆様のご理解と援助のおかげであり、心から感謝しています。

このように私が弓道を続けることができたのは、力量のある佐竹君と出会い、ともに設立した弓道部で彼から指導を受け、そして彼のおかげで多くの範士の先生方の指導を受けることができたからです。

私が低段者の頃、石岡久夫範士を迎えて三日間の合宿をして基本を習いました。竹内修範士との合宿では弓を引く行程の中で自分を

アピールすべきところではきちんとアピールすることの大切を教わり、森川勝範士との合宿では弓道のみならず日常生活のあり方について教えていただきました。伊賀上同範士には立ち振る舞いを範示いただき、宮澤廣範士には弓道の体配②の要点を二日間にわたり指導を受けました。畠中春男範士には射道研修会への入会をお世話いただき、今村鯉三郎範士にはお亡くなりになるまで長くご指導を受けました。



ねりんピック茨城大会（2007年）出場時の筆者

このように多くの先生方のご指導により、何とか教士八段までたどり着くことができました。正しいことを正しく、正確に、厳しく指導してくださる教え上手な良い先生方に巡り会えたことを幸せに思います。

弓に矢をつがえ、弓の弦を自分の方に引き寄せて、エキスパンダーを引つ張るように弓を引き、矢を的に当てるだけでは、日本の弓道ではありません。動作から動作の行間が正しく、美しく、乱れることなく、平常心で、平静を失わない無心の境地で「静中動」を求めて弓を射ること、射技と体配が整った弓を射て、その結果矢が的に当たるのが弓道なのです。

弓道は己の体力に合わせて弓の強さや、矢の重さを選んで取り組むことのできる武道です。立って、歩いて、自分に合った弓を射る力があれば、競技にも参加できますし、何歳になっても取り組むことができるスポーツであり武道です。今にして思えば、自分を信じて、馬鹿の一心、下手の横好きで辛抱して弓道を続けてきて良かったと

思っています。生かされている人生も弓道も楽しみながら、力を尽くして生きていきたいと思っています。

注

(1) 弓を射るときに用いる鹿革製の手袋状のもので、右手にはめ、弦から右手親指を保護するために使う。

(2) 射技以外の基本の姿勢や動作。歩き方や体の向きの変え方、立ち方、座り方、礼の仕方など。

まへだ もとむ

一九三六年 安芸郡田野町生まれ。
高知県弓道連盟名誉会長 教士八段。

平成二十年財団法人高知県体育協会功労賞、平成二十四年度生涯スポーツ功労者表彰（文部科学省）。

若き住職から見た社会

久保 智教

読者の皆さま、はじめまして。

南国市で日蓮宗細勝寺の住職を拝命しております、久保智教と申します。この度は「文化高知」の一隅を拝借いたしましたので、私のこれまでの道程、僧侶として今考えることを、浅学非才を省みず筆を執らせていただきますこととお許しください。

と、固い挨拶で意気込んでみましたが、皆さま、住職の私を何歳くらいに想像されましたか。やはり老僧、いいところ四、五十歳でしょうか。私は、平成六年生まれ、今年で二十八歳になります。同い年には野球の大谷翔平選手や、女優の広瀬アリスさんなど華々しい著名人が名を連ねます。

私が住職を務める細勝寺は、高知の空の玄関口・龍馬空港から車

で約五分。南国市ののどかな農村地帯に堂宇を構えます。縁起を紐解くと、文亀元年（一五〇二）まで遡り、実に五百二十年の歴史を有します。土佐国守護代・細川勝益公が、自身の曾祖父で初代守護

代の頼益公供養のため、京都から日祝上人を乞い、田村城の一角に創建したと伝えられます。当初は「桂昌寺」と称していましたが、貞享五年（一六八五）、徳川綱吉公の母堂桂昌院に名が触れることを憚り、開創の発願人・細川勝益の名から「細勝寺」と改めます。現在も境内には頼益公の墓が残っています。

また、この細川家が代々持仏としていた聖観音像も祀られており、江戸時代頃に制定された「土佐西國三十三観音霊場」の第十四番札

所として県内の日蓮宗寺院としては唯一指定を受け、かつては盛んに巡拝がされていたと伝え聞きます。いずれをとりましても、歴史と格式を有する土佐の名刹と自負しております。

平成十四年（二〇〇二）には、隣接していた空港滑走路の拡張に伴い、現在の地に移転、伽藍を一新します。近年は東部自動車道が開通しアクセスも良好。昨今の御朱印ブームも手伝ってか、県外からの参詣も多くなっています。

さて、私自身はと言いますと、生まれも育ちもこの細勝寺。物心ついた頃から父である先代住職の傍で、お寺の行事や法事の手伝いをしていました。厳しい父でしたので、私は「ああ、このまま大人になってお坊さんになるしか道はないんだろなあ」と幼心に将来を見据えておりました。

高校までは地元の学校に通いました。周囲の友達は、自分の夢を描き、そのために必要な学校へ進学、またすぐ職に就くことを常としていました。「みんなは好きなことができていいなあ」と日々羨望の眼差しでながめるばかりです。

お気づきのように、私は子どもの頃、僧侶になるのが嫌でした。「寺の生まれだから」と人生を決められていること、何度枕を濡らしたか数えればきりがありません。それでもどうやら、他の職に進む選択肢がないことを悟り、高校卒業後は腹をくくって修行の道へ入ることを決意します。

大都会東京、品川区五反田と大田区蒲田を繋ぐ東急池上線の池上駅から徒歩十分、日蓮宗の開祖である日蓮聖人が臨終を迎えた池上本門寺が門を構えます。いよいよここで私の修行僧としての生活が始まります。



細勝寺本堂

朝は四時半起床、掃除に始まり約三時間にわたる勤行（読経）、朝食の後は、お経の練習をはじめ、僧侶に必要な基礎的なことを徹底的に仕込まれます。夕方からは電車に揺られ大学に通い、眠い目をこすり仏教の勉強、そんな生活を四年間続けました。

しかしこの修行を通じて、必要なこと以上の経験をさせていただきました。多くの人や物を己の目で見て、肌で感じ、心を養います。幼少の頃には抵抗のあった仏道も修行を通じて見聞が広がり、心の中に仏の種が芽吹いたのを感じました。中でも、ある方が突如お寺



筆者

に駆け込んできてご供養をして欲しいと言われ、丁度手隙であった私が担当することがありました。お経の後に施主の方が涙を流して「ありがとうございました」とおっしゃっていた姿を目にして、人々の苦しみや悩みを少しでも取り除くことができたのなら、僧侶冥利に尽きます。

修行生活を終え、大学卒業の後、は、池上本門寺の職員として二年間奉職。当面はまだ東京で勉強を重ねるつもりでしたが、父が体調不良により細勝寺の住職を退任することが決まり、急遽帰郷の途へ。

世が平成から令和へと移りゆくとき、役員会は不肖私を第三十世住職として推挙、法燈を継承する運びとなります。しかし「僧侶」と「住職」としての勤めは似て非なるもの、歴代住職が積み重ねられた赫々たる歴史を鑑みると、当時弱冠二十四歳にしてその重責を担うことは、不安と困惑の連続でした。

「寺離れ」という言葉が生まれて久しくなりました。お寺が日常に占める割合は如何ほどか。しかし人生の節目において、例えばお正月や七五三、節分など、意識を

していないだけで意外と身近な存在なのです。全国にある寺の数はコンビニの数より多いと言われるす。

「若い住職に何ができる」と揶揄されたこともありましたが。お寺にお参りに来られるのはやはり年配の方が多く、住職といえども相手は人生の先輩。意図したことが伝わらない、話す内容に説得力が欠けるなど、課題は山積。しかし、若いからこそできることもあるのです。その一つがSNSの運用。

インスタグラム、ツイッター、ユーチューブと若者世代を中心にその需要は計り知れません。住職就任直後に早速お寺のアカウントを開設、現在SNSの総フォロワー数は二千人を超え、最近では若い方のお参りも増えています。今回「文化高知」への寄稿もご担当の方にインスタグラムをご覧いただいた事に始まる縁でした。

一方でSNS上の誹謗中傷による事件があることも、また事実。指先ひとつで他人の命を奪える悲痛な時代。だからこそ日々布教において「言葉」を扱うプロである僧侶は、発信にも細心の注意を払います。仏教は心の拠り所です。

「画面の中を心の拠り所で埋め尽くしたい」新時代の僧侶だからこそできる活動です。

諸行無常、世界は刻々と変化します。私たちは本質を見極める力を身につけなければなりません。いつの時代もイキイキと暮らせるため、私とその選択肢のひとつであり続けられるよう、今日もまた精進です。

細勝寺公式インスタグラム

@kochi_saishoji



くば ちきょう

一九九四年、南国市生まれ。僧侶、日蓮宗細勝寺住職

県立岡豊高校、東京・立正大学仏教学部卒。高校時代は剣道部に所属。趣味は料理とお笑い番組を観ること。

「地域に開かれたお寺」を念頭に、イベントの主催やストレッチ教室などへの会場提供なども行う。

あなたの知らないところを起こっている 書店員のあり得ない話

山中 由貴

ちいさいころから絵を描くのも
文章を書くのも大好きだった。

絵本作家になりたい時期、漫画
家になりたい時期をへて、読書好
きが高じて書店員になったわたし
に、この春、あるとんでもないミ
ラクルが起こった。

その本との出会いは二〇一八年。
発売前に読ませてもらったある
小説に（書店員にはそういう役得
が与えられることがあるのですよ
……ふふふふ……）あまりにも胸い
っぱいになってしまつて、わたし
はその出版社に長い感想の手紙を
送った。そうしたらその感想コメ

ントは単独で本の帯に使ってもら
えることになり、本の誕生にささ
やかながら拍手を添えられたよう
な、誇らしい気持ちになったのだ
った。

しかしそれだけではまだ足りない
気がして、どうしても全世界に
向けて叫びたかった。この小説、
最高だぞー！と。そこでわた
しはおそろおそろツイッターをは
じめ、フォロワー0人だから当然
誰にも届かないにもかかわらず、
興奮をつぶやくつづけた。もちろ
ん自分が働くお店でも大きく展開
して、なんとTSUTAYA中万
々店がその作品を日本でいちばん

売ってしまった！（ははははは）

こんなに入れ込んでしまう小説
に出会ったのははじめてだった。

それはもしかしたら、この小説の
おもしろさに気づいている人間は
世界にわたしひとりかもしれない
い！世界に気づかせなければ！と
いう勘違いお花畑脳のなせる技
だったのでは、とあとから赤面し
てしまうのだけれど、それでもそ
こから少しずつツイッター書店員
として界限に受け入れられ、当時
の自分は予想もなかった活躍の
道が開けたのはたしかだ。この小
説はわたしの人生をすっかり変え

てしまったのだ！

その小説っていったいなんなの
よー！と思ってくれただろうか。
それは、藤谷治さんの『燃えよ、
あんず』だ。

下北沢のちいさな本屋の店主、
オサムさんを語り手に、この心地
よい物語ははじまる。

作者の藤谷治さんは実際にかつ
て下北沢で本屋をやつていて、そ
こで出会った久美ちゃんという常
連客のことを小説にしたのがこの
作品というわけだ。語りはユーモ
ラスでどこか人の心を掴んで離さ
ない。一読して藤谷さんの文章が
大好きになる人は多いのではない
だろうか。

久美ちゃんの波乱万丈な人生と、
ひと癖もふた癖もあるその他の面
々が巻き起こすてんやわんやが笑
いと涙をいっぺんに運んでくるよ
うな、パニック・コメディー・ラ
ブストーリーとでもいえばいいの
かいろんな要素がてんこ盛りの展
開なのだけど、じつは大団円のあ

とがまたすごいのだ。この最終章にわたしは心をわし掴みにされ、感動の余韻に思う存分ひたった。

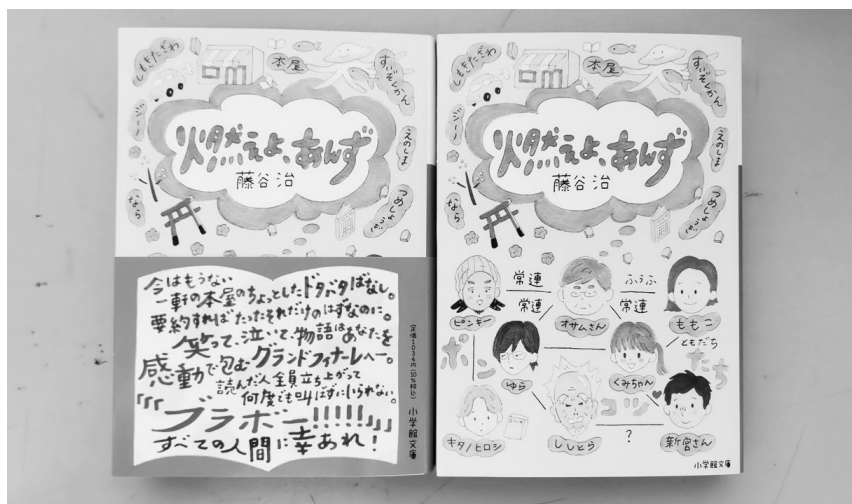
単行本の刊行から三年。その『燃えよ、あんず』が文庫になった。

ここでようやく本題の、書店員に起こったミラクルをお話したい。

じつはこの作品の版元である小学館の編集の方からとんでもない依頼を受けてしまった。『燃えよ、あんず』文庫の表紙イラストと帯、そして巻末の作品解説をわたしに一任したいというのだ！ わあああああ！

はじめは信じられない思いながら狂喜乱舞したのだが、だんだん冷静になるにつれプレッシャーに押しつぶされ、月日が流れてもいっこうに絵は描けなかった。表紙というのはその本に手を触れてもらえるかどうかの大事な大事な「顔」

だ。作品の魅力を下げるような真似はできない。いくら一生懸命になったって、わたしはプロのイラストレーターではないのだ。編集の担当者Iさんには、なかなか進まない仕事に、きつと頼むんじゃないかと思われてる！という妄



想でずっと気分が重かった。そんなときしばらくぶりにIさんからメールをいただいた。そこには「山中さんのいつものPOPのように描いてほしいんです」とあった。そこで思い出したのだけど、Iさんはこの夢のような仕事をくれたときにこうもいつてくれたのだった。

「この作品を日本一愛してくださっている書店員は山中さんだと思っているので」

いま書いていても涙がじんわりする。そんなふうに認識してもらって、愛する作品とここまで関わらせてもらえることが、この先の人生で二度あるとも思えない。肩の力を抜いて楽しもう、自分がイメージする作品のかわいくておかしみのある空気を、POPにするように描いてみよう。

そして、ついに『燃えよ、あんず』の文庫が自分の店にも並んだのだった。

わたしは書店員をやっているただの作品のファンにすぎない（暑

苦しいタイプであることは自認しているけれども）。それがどうしたとか、人生でもいちばんと思えるほどの作品とこんな形で添い遂げることになるなんて！ 絵を描くのが大好きで、文章を書くのも大好きな子どものころのまま、いっぺんに夢が叶ってしまったようなものだ。『燃えよ、あんず』からは、本当にいくつものとてもないギフトをもらった。

書店員としてのさらなる夢としては、この素晴らしい物語がひとりでも多くの人に届くといいなあと願っている。きつとあなたを、この上なくハッピーな気持ちにさせてくれるから！

やまなか ゆき

一九八〇年 高知市生まれ。

TSUTAYA中万々店の書店員なかしんぶん編集長としてTwitterやっています

好きな本について喋るときだけ饒舌になります。



私たちは高知工科大学で活動している猫愛護学生団体「てくねこ」です。私たちは「人と猫のより良い共生を目指して」をモットーに二〇二〇年から活動を始めました。昨年の一月には高知新聞で私たちの活動を記事にしてくださいました。活動開始から一年半、現在は主な活動として、大学周辺にいる猫の見回り、小中学校への講話活動、周辺地域へのTNR活動などをしています。

そのなかで特に力を入れている活動がTNR活動です。TNRとは野良猫を捕獲（Trap）し、不妊去勢手術（Neuter）を行い、元居た場所に返却（Return）する一連の活動のことです。

TNR活動は、現在、殺処分を減らすために有効である唯一の方法であり、全国の自治体が補助金を出しています。私たちも県の補助制度を利用して活動をしています。

TNRを終えた猫は目印として

さくら耳（耳の先のV字カット）を施されます。そしてさくら耳を持つ猫は野良猫ではなく、「地域猫」となり、地域の管理のもとその場所で一生を終えることができます。

また高知県で殺処分される猫は全て乳飲み子であるため、野良猫に不妊去勢手術を行うことで新たな子猫が生まれなくなり直接的に殺処分数を減らすことができます。

しかしTNR活動は猫の生殖の機能を失わせる、自然に反した行いであるため、保護猫活動や猫愛護活動をしている方でも反対されている方がいることも事実です。そこで私たちはTNR活動、野良猫問題への理解を持っていただくために講話活動も行っています。

野良猫問題に対して一般の方が関心を持つことは難しいと思います。しかし野良猫問題の当事者になることは決して珍しいことではありません。



TNR準備の様子

野良猫に餌をあげ始めるきっかけは人様々ですが、多くの方が始めは数匹だった、それに子猫が生まれ、五匹になり、十五匹になり：気が付いた時には自身の生活に影響を与えてしまうほどの猫の数になってしまったと言います。

また、猫の数が増えるに伴って周囲から孤立していき、その寂しさからさらに猫に依存してまた数が増えてしまう：という悪循環が最悪の結果へと繋がってしまうことがものすごく多いです。

取り返しがつかなくなる前に野良猫に餌をあげている方や周囲の方が問題意識を持ち、早いうちからTNR活動や、話し合いを行うことがものすごく重要なことだと感じます。そして私たちはできる限りそのお手伝いをさせていたいただきたいと思っています。

ただ、私たちがTNR活動を行う際にひとつ大きな問題があります。それは

多くの学生が長くても四年ほどしか高知県での活動に関われないという点です。TNR活動



猫たちの運搬

は手術をした後の猫の世話を地域で継続して行っていくことがとても重要です。しかし私たちはその役目を果たすことが難しいのです。

そのためもっと多くの方にTNR活動や地域猫の存在を正しく理解していただき、高知県に住んでいる方に自ら野良猫問題に少しでも関わりを持っていただけるようにと思っています。高知県には多くの猫ボランティア団体が存在しており、一般の方も様々な形で協力できます。

大変な活動ですが、SNSなどで多くの方に活動の応援をしていただいたり、TNRを行った地域から感謝されるととても活動の意義を感じます。これから先も私たちの活動についてのご理解とご協力をいただけると嬉しいです。

もりた ともこ

高知工科大学 情報学群三年生
二〇二二年度てくねこ代表

Twitter : https://twitter.com/Tech_Neko_kut
Instagram : https://www.instagram.com/tech_neko
mail : kut.techneko@gmail.com



Twitter



Instagram

「アンテナ」 カラクリシアター、その後

下尾 仁



周波数を合わせば、いろんな人と出会い繋がる事ができる。アンテナを高くたて沢山の人と繋がろう。

前回の文化高知ではまだ本番を迎えていなかった『さすらいのキャリアー』。前回の文化高知を読んだない方の為に説明すると、『さすらいのキャリアー』とは、高知の劇団カラクリシアターが、コロナで約三年芝居ができず、やっとの思いで四月二十二日・二十三日に美術館ホールで開催した芝居、そのタイトルが『さすらいのキャリアー』である。

さあ舞台はどうなったかという、二日間計三回の公演に六百人以上が来場、大成功で終演を迎えることができた。舞台上上がった軽トラ「キャリアー」も見事に存在感を出し、舞台を所狭しと走り回った。舞台上上げる為にエンジンなど可燃性のある物は外してい

るので、動力は荷台をくり抜いた所から人が押して動かす人間エンジン。足が見えないような黒い幕で隠すようにしていたのだが、ほとんどの人が、どうやって車が動いていたのかわからなかったようで、これまた大成功であった。同級生五人にも初めて僕の出演する芝居を見に来てもらったのだが、全員が年をとって涙もろくなったのか、涙が出るほど感動したと言ってくれ、その言葉にこっちが感動してしまった。感謝感謝である。

『さすらいのキャリアー』は、高知新聞や季刊高知でも宣伝していただき、多くのお客様が来るきっかけにもなったので、この場を借りてお礼を言いたい。演劇は演者だけでは成り立たず、お客様に見てもらい何かを感じてもらおうのが演劇だと座長の谷山さんが言っていた。だから一人でも多くの人に見てもらおう為に宣伝していただき

本当にありがとうございました。

舞台が終わった後も、月一回出演させてもらっているデハラユキノリ氏の「ヨルラジオ」に谷山さんと一緒に出演し、芝居に対する熱い思いや舞台の裏話を語らせてもらった。ユキノリさんも見に来てくれていたので、出演者と客との生の会話がラジオの中で話せるのはリアルに面白かった。二千元の入場料だったのだが二千五百円の価値があったとお褒めの言葉もいただいた。「ビミョー！」でも、演じることを諦めない」というタイトルで、かなりの時間を使い特集のように取り上げても良かった。団員がコロナ禍の中、芝居ができず長いトンネルの中にいたが、やっとそこから抜け出し、芝居のできる嬉しさを語ったインタビュや、練習風景から本番までの映像をたくさん流してくれた。



『さすらいのキャリアー』公演メンバー

座長の谷山さんのインタビュでは、ラジオ同様に、熱い思いを語っているのだが、画面にアップで写し出された彼のメイクがコントメイクのようで、真面目に話をすればするほど、僕のつばに入ってしまった笑ってしまった。「谷山さんごめんなさい」

大活躍した軽トラ「キャリアー」は解体屋に持っていかれ、今は車の原型を留めていないが、僕の乗っている軽トラ「ハイゼット」は、毎日僕を乗せて、その辺りをさすらっている。「行こう、ハイゼット」今日も買い物に!!



筆者

しもお ひとし

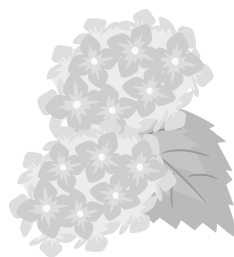
一九六九年生まれ。

岡豊高校一期生。二十五歳ぐらいに演劇に目覚め、日夜面白い事はないかとキョロキョロしている。

6月の事業から

第
74
回

高知市展



高知の初夏を彩る「第74回高知市展」を五月二十六日(木)から六月五日(日)に開催しました。七十四回目を迎えた今年は、かるぼーとの改修による休館のため、二十一年ぶりに高知県立美術館が会場となりました。



3年ぶり、オープニングのテープカット

第74回高知市展の準備は、かるぼーとの休館が決定した二〇二〇年から始まりました。休館中に高知市展を実施するのか、実施するとしたらどこでできるのか、各部門の出品規格や点数はどうするのか。全十部門の部長・副部長からなる代表委員会のメンバーを中心に、どのような形で開催するのかが何度も話し合われました。

そういった関係者の努力の末、七十四回目の高知市展は大きな混乱やトラブルもなく、無事十一日間の会期を終えることができました。

会場の広さの都合で、いくつかの部門で出品点数が制限されたこともあり、全体の点数は減少したものの、展示された作品はどれも出品者の思いの感じられる力作揃いで、高知市民の創作にかける情熱をあらためて感じることができました。新型コロナウイルス感染症の影響で子どもたちの体験イベントを断念するなど、まだまだ本来の高知市展の形での開催は



展示作品の研究会(書道)

難しいですが、かるぼーとに帰ってくる第75回高知市展でも、市民の皆さんの素晴らしい作品に出会えることを期待しつつ準備をすすめていきます。

入場者数	一九〇四名
出品者数	四〇〇名
出品点数	五〇四点

高知市文化振興事業団

JHO(ジュニアハイスクールアウトリーチ) 大道芸アーティスト派遣事業

高知市文化プラザかるぼーと休館中の一年間(令和四年四月～令和五年三月)、文化芸術活動を身近に感じてもらう取り組みのひとつとして、高知市内の中学校等に大道芸アーティストを派遣するアウトリーチ(訪問・交流)活動を計画しました。

参加対象は、中学二年生を中心とした子ども達で、新型コロナウイルスの影響で小学校での修学旅行や卒業式等、全てが簡素化されたこの年代の皆さんに「少しでも楽しい思い出を提供したい。誰もが自然と楽しめる大道芸こそ、思春期で難しい年頃の子どもの心を揺さぶることができる」そんな思いで本事業を企画しました。訪問時期を、一学期、二学期、三学期の三回に分け七校ずつ、一年で二十一年の学校にアーティストを派遣します。

一学期の大道芸アーティストは、RYU(りゅう)さんです。横浜を拠点に活動しており、ヘブンアーティストや江ノ島大道芸パフォーマーのライセンス保持者ですが、地方でのパフォーマンスも行っています。ボールやファイヤートリッチなどのトスジャグリングを中心に、ラ

ダーや一輪車、スピードキューブ、マジック、バルーン、ディアボロ等を行い、お客さんを巻き込みながらのコメディショーは、楽しい空間を作ると定評があります。

まず始めに、春野中学校を訪問。「普段、大道芸をやる時は、終わりの時間を気にしたことがないんですね、中学生のみを対象にするのも初めてなので不安です。」なんておっしゃっていましたが、私達の予想以上に大盛況! 始まってすぐに、子ども達の心をわしづかみにしました。会場では、子ども達が全身で拍手したり、笑

ったり、ガッツポーズしたりと、お客さん参加型のパフォーマンスで、会場はあつという間になリま



した。最後の方には、「お客さんを信じること、人を信じることで、大道芸という仕事ができ、僕は生活ができています。この人と人との信頼関係で仕事は成り立っているんだよ。君たちも人を信じるということを中心に留めておいてほしいです」と子ども達に感動のメッセージ。良い話にジーンときていたところ、最後に大技を披露し、またまた大盛況! メリハリのきいた五十分は、子ども達にとって、最高の思い出になったのではないかと思います。

その後、南海中、城西中、城東中、行川学園、鏡中、介良中と四日間で七校を回りました。どの学校でも大いに盛り上がり、最初は腕組みしていた恐そうな先生も、最後には大きな拍手で喜んでくれていました。

滞在中、高知城やひろめ市場、桂浜等も見回り、「高知への移住も考えたい! 次は趣味の釣り竿を持って来たい!」なんておっしゃっていました。次号の文化高知では、そのRYUさんの高知滞在レポートも掲載予定です。お楽しみに!

開催日 六月七日(火)～六月十日(金)
会場 高知市内の中学校七校
参加者数 合計約五七〇名



高知を撮る

第37回写真コンテスト入賞作品

サーファー

(令和2年8月1日 東洋町)

平井 正光

サーファーの朝は早い。午前7時には数十人が海に入っている。朝日が照りつける中、準備体操をする女性サーファーに声をかけ一枚撮らせていただきました。

のんびりするということがあまり性分に合っていない私は、回遊魚のように動き回っている。子育てが終了しエネルギーを持て余しがちだった一月のある日、テレビから、「私たちは宇宙を目指します！」というキャスターの声が聞こえてきた。「あ、去年募集が始まった宇宙飛行士ね。文系でもいいし年齢制限もなくなった。この人たちがチャレンジするくらいなら私もやれるかも」。この直後から、私のジェットエンジンに一気に火がついた。そうだ、宇宙を目指そう！ さっそくJAXAのWebページに登録し、詳細を調べてみると、相当な量の書類を揃えないといけない。健康診断は、見たこともない検査項目が並んでいて、「検査した人は、これから宇宙を目指す人です。厳正な診断をお願いします」という注意事項があり、最後に医師のサインも必要。「これだけでナン万円もするなあ、どうしよう」。県内の医療機関にいくつも問い合わせた。複数枚に及ぶ志願書や自由記載のアピール、出願だけだめげそうな物量をこなしやっと送信した。

宇宙を目指そう！



風俗歳時記

TOEICで高得点を出すのは難しいとは思いますが、今回得たのは、「学ぶこと」の楽しさだ。学生を卒業すると、なかなか机に向かって勉強する機会がない。今回久しぶりに受験生をやってみて、胸が高鳴った。さあ次は何をしようか。

(立花香)

このコラムを書いている時に言えるのはここまで。ここから先に行けるかどうかはわからない。おばさんが付け焼刃で、この意味でのストレスも多かったが、何とか英語の受験は終わった。

十三年ぶりの募集には四千二百二十人という過去最多の応募があり、書類選考により約半数が門前払いとなった。私はなんとか通過したが、過酷な受験勉強をするのは実に四十年ぶり。細々と続けてきた英語の勉強は朝晩一時間ずつ増やし、ニュースは完全英語で聞く。英語試験はTOEICに酷似しているという情報を直前にキャッチし、急遽、TOEICの勉強に切り替えた。慣れない試験内容、リモート受験は、電波が滞るなど、別の意味でのストレスも多かったが、何とか英語の受験は終わった。

高知街ラ・ラ・ラ音楽祭

プロ・アマチュア問わず、公募で出演者を募集する四国最大規模の野外音楽祭。高知市中央公園や帯屋町商店街、はりまや橋商店街などの特設会場を舞台に、県内外から集まった多彩なジャンルのミュージシャン約130組の演奏をお届けします。

日時：2022年9月18日（日）11:00～21:00

会場：高知市中央公園ほか

主催：高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会

お問い合わせ：高知市文化振興事業団 088-883-5071

※会場や出演者情報は公式ホームページをご確認ください。
<https://kc-lalala.com>



風伯

松尾競馬場

に認める、城下一のお調子者である。高知市春野町森山の新川競馬場跡、仁淀川町長者の星ヶ窪競馬場跡、そして同町森の松尾競馬場跡が取材先。ナイスチョイス。これらは走路である馬場跡が現存しているのだ。事前の話では私の職場で、短時間、簡単に、コメント撮りのはずだった。ふたを開けてみると、職場の広報担

誕生月の四月、テレビの取材が来る。競馬などの有料放送を流すグリーンチャンネルの制作会社。初め史談会に私と連絡を取りたい旨の電話が。聞けば、高知の草競馬場跡を紹介するコメントがほしいとか。一大事である。不格好な八十キロがカメラの前に立つなど、無謀。でも二つ返事でOK。私は自他とも

当がぞろぞろスタッフを引き連れ、ソリやあもう大騒ぎ、となる。何せレポーターが、テンション上がりまくる浅野靖典氏と、負けずに話す、美しすぎる井上オークス氏なもので。私は、新川と星ヶ窪の馬場跡には何度か行った。でも松尾はあまり史跡がないと聞いていて未調査だった。今回専門家面しないともずいと思ひ、慌てて収録日前に、真っ赤なマーチで見に行ったのは内緒である。突然出向いた山は、花桃と桜、野の花々が競演する春の盛り。松尾競馬場は、聖域だった。往時の写真に馬と写る、観音堂が現存。奉納された小型の馬像や馬画。馬場沿いに碑。草競馬の魂に触れる。馬隠れて走路あり。半分は春花に埋まる。馬場に立ち呆然とする。馬たちの狂騒を、確かに感じた。

(昌)

アメリカのオーディション番組『アメリカズ・ゴット・タレント』で優勝し、賞金100万ドルを獲得！
 全米No.1ダンサーとして、世界中を虜にしたパフォーマー 蛸名健一が高知に！
 一躍人気者となったEBIKENのダンスパフォーマンス。

【特別出演】

★鉄棒を用いて空中で踊る エアダンスの先駆者（上西隆史）
 ★世界中で活躍中の輪車演舞（ユニサークル・フロー）

【日時】

7月13日（水）

開場 18:30 開演 19:00

【会場】

高知県立県民文化ホール
 グリーンホール

【入場料】

全席自由

一般 4,000円

高校生以下 2,000円

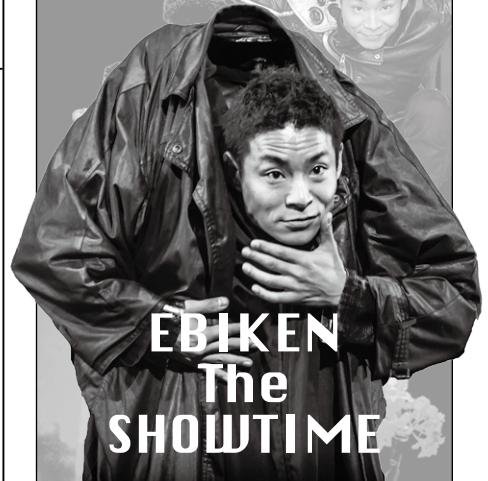
（当日券+500円）

※未就学児の入場はご遠慮ください

【主催】

公益財団法人高知市文化振興事業団

TEL：088-883-5071



今号の表紙

「土用の丑の日」

岸本 有希乃

少しずつ暑くなり体調を崩しやすい時期になるので、うなぎを食べて元気に夏を乗り越えよう！という思いを込めて制作しました。

（きしもと ゆきの／

龍馬デザイン・ビューティ専門学校2年生）

人形劇団 ひとみ座

原作『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』シリーズ(偕成社刊) 廣嶋玲子・作 jyajya・絵

人形劇

ふしぎ駄菓子屋
銭天堂

幸運なお客様だけが
たどりつける。
駄菓子屋「銭天堂」。
あなたもたどりつくと
すね。

脚本◆中村孝男
演出◆北村直樹
(人形芝居ひつじのカンパニー)
人形美術◆小川ちひろ
作曲◆庄子智一

令和4年8月14日(日) 14時00分開演(13時30分開場)
高知県立県民文化ホール・グリーンホール

■入場料 全席自由 一般前売り2,000円(当日2,500円)
高校生以下前売り1,000円(当日1,500円)
※未就学児童は、膝上観覧の場合は無料。ただしお席が必要な場合は有料。

■前売り券販売所 チケットぴあ(セブン-イレブン/Pコード 512-503)
ローソンチケット(Lコード 63250)
高知県立県民文化ホール(088-824-5321)
高知プレイガイド(088-825-4335)
高知県立美術館ミュージアムショップ(088-866-7653)

【Culチャーズ会員価格】 一般1,800円 高校生以下900円
【Culチャーズ会員特典】 先着10名様を本公演に無料ご招待
8月7日(日)までに、高知市文化振興事業団にお申し込みください。

■主催 公益財団法人高知市文化振興事業団 さんさんテレビ

■お問い合わせ
公益財団法人高知市文化振興事業団
088-883-5071 8:30~17:15(月曜・祝日お休み)

【来場の皆様へお願い】新型コロナウイルス感染症予防策として、本公演来場時は、マスクの着用、入場での手指の消毒、非接触式体温計による検温、連絡先の提供等にご協力をお願い申し上げます。